

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 30 年 7 月 12 日 (木)

## ◎項 目

- 1 平成 29 年度の時間外勤務等の状況及び適切な業務管理の徹底について【総務部】
- 2 インターンシップの実施について【総務部】
- 3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

## ◎冒 頭

### (副知事)

今回の豪雨災害の発生に伴い、行方不明となられていた方が昨日発見されたが、残念な結果となってしまった。未だ孤立集落もあり、今後も農林水を含め、被害情報が明らかになると思われるので、引き続きしっかりと対応をよろしく願います。

被災者の方々への対応として、避難所での対応や仮設住宅の問題、各種の制度資金など、現時点で県として出来ることを取りまとめてホームページに掲載し、情報発信したいと考えている。

義援金などの県外向けも含めて、各部署で支援内容について取りまとめを行い、本日中に広報広聴課まで連絡をお願いします。

## ◎内 容

### 1 平成 29 年度の時間外勤務等の状況及び適切な業務管理の徹底について【総務部】

総務部より平成 29 年度の時間外勤務等の状況及び平成 30 年度 5 月の時間外勤務並びに適切な業務管理等の徹底に関する説明及び協議が行われた。

(総務部)

5 月の時間外勤務の状況について、昨年と同時期と比較して、突発事項や施策の重点化などにより時間外勤務が増加する所属がある一方、恒常的な業務で時間外勤務が増えている所属もある。各幹部職員は、時間外勤務の状況を確認し、縮減のための業務改善を実施していただくよう願います。

また、各所属においては「活力ある職場づくりと公務能率等の向上について」の副知事通知に基づき、業務に取り組んでいるところである。業務管理に関しては、例年、行政管理課長名で、休暇の取得状況などを各所属に数値のみを通知していたが、この度業務管理を徹底するため、過度の時間外勤務への対策等を含めた部長通知を発出することとしている。

各部局の管理職員は、通知内容を確認していただき、所属における業務管理等の意識を高め、事務事業の見直しによる業務改善を図るよう、よろしく願います。

### 2 インターンシップの実施について【総務部】

総務部よりインターンシップの実施に関する説明及び協議が行われた。

(総務部)

本年度もインターンシップを実施する。

昨年は 127 名 34 校の実績があり、本年度は 122 名 38 校の受入を予定している。

受入期間は 8 月 20 日から 9 月 7 日までの間で、期間中各部局には 10 名程度の受入をお願いします。

平成 28 年度のインターンシップ経験者の約 2 割が、本年度高知県に入庁した実績もあり、人材確保の観点からも協力をお願いします。

### 3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付のうえ、各部局等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○全国知事会社会保障常任委員会について

(健康政策部)

全国知事会社会保障常任委員会について、本年度から高知県が委員長県となっており、7月13日に委員会を開催し、国に対しての要望案をまとめていく。

その中で目玉となるのが、健康立国に向けた宣言を行うことであり、持続可能な社会保障制度の確立に向けて、地方の責任を果たして行くということを宣言する。具体的には、各都道府県の健康づくりに関する優良事例やそれを支える少子化対策などの優良事例を共有しながら全国に展開していく。

#### ○高知大学との意見交換会について

(産業振興推進部)

高知大学は、地域貢献が最大のミッションだと考えており、県と二人三脚で取組を進める旨の考えを示していただいていることから、県から意見交換会の開催を提案させていただき、今回の開催に至ったものである。

今後、各部門でも積極的に協力体制を構築していただきたいと考えている。

#### ○土佐清水ジオパーク構想について

(観光振興部)

土佐清水ジオパーク構想について、5月に一次審査を通過し、本日7月12日と明日13日の2日間、ジオパーク委員会の審査員による現地調査が行われている。

現地視察の他に、ジオパークと高知県との関わりについて、県立新足摺海洋館の関係や自然体験型観光の推奨など、県の取り組みについても説明することとしている。

昨年の例によると、結果発表は年末になる見込み。